



2009年5月7日

お客さま向け資料

ブラジル株式市場の値上がりについて

ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント株式会社

ブラジル・ボベスパ指数は5月6日までの3営業日で8.90%値上がりしましたので、状況をご説明いたします。

	5月4日	5月5日	5月6日
ボベスパ指数(終値)	50,404.53	50,669.78	51,499.48
変化率(前日比)	6.59%	0.53%	1.64%
出来高(億リアル)	72	56	75

市況概況:

5月4日は、景気悪化の最悪期は過ぎたとの見方から欧米市場で株価が上昇したことや、中国の鉱工業生産が増加に転じたことで商品需要が改善するとの期待から原油価格や商品価格が反発しました。ペトロブラスとヴァーレの輸出には回復の兆しが見られたことで両社が市場を先導したことに加え、鉄鋼株も大きく値上りしました。

また、サンパウロ金融先物取引所は、今年4月(1日から28日まで)のブラジル株式市場における外人投資家の株式買い越し額が、31億リアル(15億米ドル)と昨年4月以来の規模に達したと発表しました。これを受けてブラジルの株式市場では先高期待が台頭し、サンパウロ金融先物取引所(BM&F Bovespa)が大きく値を上げたほか、銀行株も上昇、ボベスパ指数は前日(4月30日)比6.6%高と、昨年9月以来の50,000ポイント台を回復しました。

5月5日のボベスパ指数は前日比0.5%高と続伸、紙・パルプ関連を中心に資源需要が回復するとの思惑から買われ、7ヶ月振りの水準にまで上昇しました。銀行株も続伸した一方、資源株や鉄鋼株は小動きでした。

5月6日のボベスパ指数終値は、景気回復の期待から引き続き資源株を中心に買われ、前日比1.6%高の51,449.48となりました。足元では出来高が急騰しており、6日は75億リアル(35億米ドル)に増加しました。原油や商品は大きく反発し、原油先物価格(WTI)は前日比4.6%高の1バレル=56.34米ドルまで上昇しました。米国の民間雇用者数の減少幅の縮小や原油在庫の増加幅が市場予想を下回ったことが反発要因と見られます。

主力のペトロブラスは前日比1.5%高、ヴァーレも同0.8%高となったほか鉄鋼株や紙・パルプが値上りした一方、銀行株はまちまちで、住宅不動産関連は利食いの売りに値を下げる銘柄が目立ちました。

ブラジル中央銀行によるリアル売りにもかかわらず、資源需要の回復等により貿易黒字が拡大していることからリアルが値上りし、5月6日の為替市場は、リアルは対米ドルで前日比1.1%リアル高の1米ドル=2.11リアル、対円でも同0.6%リアル高の1リアル=46.54円となりました。

今後の見通し

世界的な景気低迷を受けて景況感が悪化し、3月の失業率は9.0%となり、厳しい状況が続いていますが、5日に発表された3月の鉱工業生産は前年同月比-9.96%と、前年同期比では引き続きマイナスながら、前月の同-16.84%と比較すると改善し、融資残高も増加しています。2009年のブラジル経済はマイナス成長になるとの予想がありますが、下げ幅は予想されたよりも小幅に留まるとの観測も高まっています。

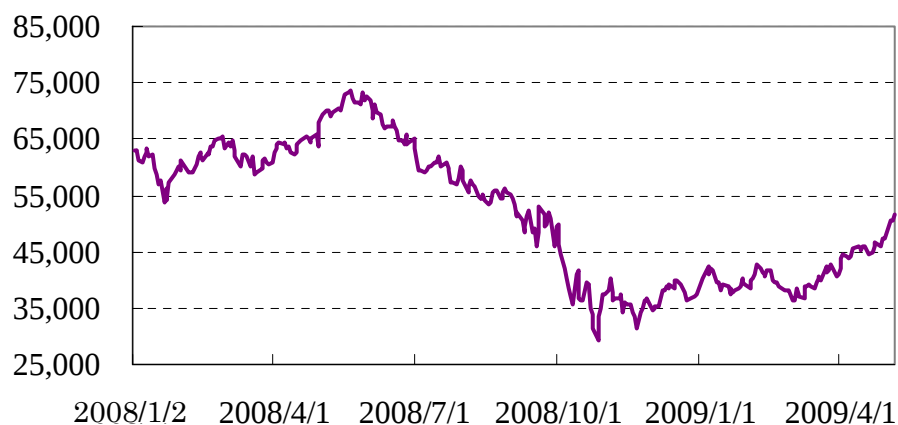
投資家のリスク許容度を示すVIX指数(高いと投資家のリスク回避姿勢が強いとされています)は、足元で大きく低下しており(昨年9月後半と11月半ばは80超、5月6日現在は32.45(出所:ブルームバーグ))、投資家のリスク回避姿勢が緩和していると考えられ、上述の、ブラジル株式市場における外人投資家の株式買い越し額が増加したことも符合します。

ブラジル政府は、利下げに加え減税や財政出動などの景気刺激策を打ち出しており、これらの政策は早晩効果を表すことが期待されます。

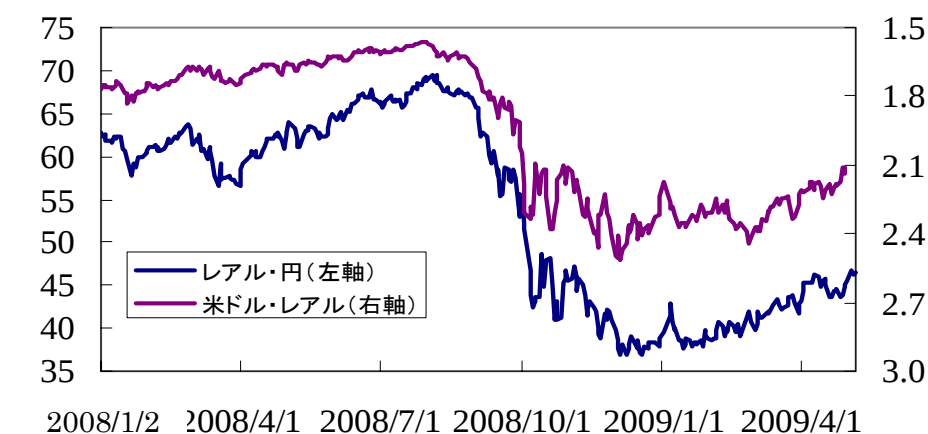
ただし、ブラジル経済および株式市場の回復過程では、調整場面を伴うことも考えられることから、ブラジルをはじめ、世界的な景気回復動向を注視しつつ、運用につとめてまいります。

【ご参考】

ボエスバ指数の推移
(2008年1月2日 - 2009年5月6日)



通貨レアルの推移
(2008年1月2日 - 2009年5月6日)



出所：ブルームバーグ

本資料は、ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解および「BNPパリバ・ブラジルファンド」に関する情報を提供することを目的として、2009年5月7日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。

BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型・バランス型)の主なリスクと費用は、次の通りです。

リスクについて

当ファンドはリスク商品であり、投資元本は保証されていません。したがって、換金時に投資元本を下回ることがあります。また、収益や投資利回りなどは未確定の商品です。

■ 価格変動リスク

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主にブラジルの株式や債券など値動きのある有価証券に投資します。株式の価格は政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等を反映して変動します。また、公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します(値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります)。組入株式の価格および債券価格が下落した場合、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

■ 信用リスク

株式の価格は、発行企業の信用状況によっても変動する場合があります。経営不安や倒産等の重大な危機に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることがあります。また、公社債の価格も発行体の信用状況により変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利子および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合(債務不履行)、またはできなくなることが予想される場合、公社債の価格は大きく下落します(利子および償還金が支払われないこともあります)。その結果、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

■ 為替変動

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクを伴います。原則として為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面では当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

市場規模や取引量が少ない場合などは、本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。このような状況においては、機動的に組入銘柄を売却できないことがあります。その結果、売却価格が大きく低下し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

■ カントリーリスク

ファンドが主に実質的に投資する、ブラジルの証券市場などの先進国以外の国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。それらの国の経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが金融・証券市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。上記のような投資環境変化の内容によっては、ファンドでの新規投資の中止や大幅な縮小をする場合があります。これらの社会情勢の変化によって、当ファンドの基準価額が大きく下落する可能性があります。

■ 追加設定・一部解約による資金流出入に伴うリスク

ファンドの追加設定および一部解約による資金の流出入に伴い、基準価額が影響を受ける可能性があります。大量の追加設定もしくは一部解約が行われた場合、株式の売買手数料や市況もしくは取引量の影響等による市場実勢から乖離した価格での株式の組入れおよび売却を行う必要が生じると、当ファンドの基準価額はその影響を受けます。

■ 権利行使の制限

当ファンドは、お申込日がサンパウロ証券取引所の休業日と同一の場合には、原則として追加設定・換金のお申込みはできません。また、証券取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、追加・換金の受付が取り消しまたは中止されることがあります。

費用について【ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

■ 申込時に直接ご負担いただく費用

申込手数料 お申込日の翌営業日の基準価額に対して上限3.15% (税込)

■ 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 信託財産の純資産総額に対して年率1.785% (税込)

■ その他の費用

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等

※ その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限等を示すことができません。

当ファンドの手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することが出来ません。

詳しくは、投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

商号	大和証券株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号
加入協会	日本証券業協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会 社団法人 金融先物取引業協会

■ 設定・運用は

商号	ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第378号
加入協会	社団法人 投資信託協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会